第380 今月の**修光**Style



現場の力を結集し 「介護崩壊」危機を乗り越えよう

新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、感染リスクや人員不足から自主休業を選ぶ介護事業所が増えるという状況になりました。 介護が必要な高齢者を守るため、事業者はどのように対応をすべきか、行政にはどのような支援が求められるのか、などについて、 介護現場を熟知する東洋大学ライフデザイン学部の高野龍昭先生に話をうかがいました(リモート対談を実施)。



野龍昭

東洋大学ライフデザイン学部 生活支援学科 准教授

くなり、

状態を悪化させていく。



そのだ修光

全国老施協常任理事 参議院議員

ているのですが、

実体として訪問

数とともに「全事業所の1%かそ の休業件数を公表しています。 介護事業所 (通所系・短期入所系)

以下など」といった割合も示し

ています。

につながるのではないかと心配

ひいては介護崩壊、

医療崩壊

とで、 服はもちろん、マスク姿が認知 の人に不安を与える場合もあ 援が必要です。 の配布にしても、 の崩壊を防ぐ力にもなるのですか しています。 むようにすることを一つの目標に 倒による骨折防止などに努めるこ 不足しているマスクや防護服 介護現場では口腔ケアや 高齢者が医療に行かずに済 介護の頑張りが医療 介護の場合、 医療と同等の

を中心にバタバタと介護施設が

高齢者が介護を受けられな

越えてほしいと思います。

そのだ いです。 てくれば、 で事業継続が困難なところが増え 特に小規模の通所事業者 それが介護離職を増

小した事業所は、

公表数字より多

回数や定員を減らすなど事業を縮

チュエ をわかりやすく示すことも必要で 団体 1 や専門職団 ション別 の対応ノウハウ 体、 行政 は

も参加 そのだ いただき、感染症対策チ 全国老施協では専門家に

ムをつくることも考えています。

現場は大変ですが、ぜひ乗

をしっかり行ってください。 学んだことも含め、感染防止対策 きです。 業に対しても経営上の支援をすべ ことです。そして行政は、自主休 られるとお考えですか ればならない局面もあるでしょ 経営者はこの判断を誤らない 事業の休止や縮小を決断しな 感染リスクなどを考えれ 職員の方々にはこれまで

都道府県単位で配布する準備をし それはいいです

型コロナウイルス感染症

への対応 の

どのように考えておら

介護分野における国

れますか。 について、

厚生労働省が約10日ごとに

国にどのようなことが求

介護事業所・施

さらに詳しく知りたい方は、ホームページにアクセスしてください。

こうした事態が現実のものとなる

日本社会が立ち行かない

ほど

大問題になりかねませ

模の基金をつくり、

防護服などを

ひいろいろとご協力ください。

壊が起こっては元も子もありま

感染が収束しても、

そうした事態を防ぐため

全国老施協では3億円規

医療より備蓄は十分ではあり

検索 または、https://shuko-sonoda.com/



公式LINEアカウント: https://page.line.me/psd1500s LINEの「友だち追加」より

友だち登録お願いします!

